

事務事業名	男女共同参画啓発事業		所属部局	市民部	単位番号	4001	
	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		所属課室	みんなでまちづくり推進課	課長名	次長 大芝久	
			所属担当	男女共同参画担当	担当者名	笹本芳美	
基本政策	基本計画	I 情報と連携の都市づくり	予算科目	会計 01	名称 一般	款 02	項目 01 08 020 03
政策	計画	05 男女共同参画社会づくりの推進	事業区分	<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業 <input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 補助金交付事業 <input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他の事業 <input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金			
施策	体系	07 男女共同参画社会づくりの推進					
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度)		法令根拠	男女共同参画推進条例・南アルプスハーモニープラン			
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 少子高齢化、人口減少社会など社会経済情勢の急速な変化に対応していく中で市民一人ひとりが能力を十分に発揮し個々が自立できる男女共同参画の必要性について理解を深めてもらうため市民に意識の啓発を行う。			事業費の主な内訳 (25年度 決算見込)			
				項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)
			講師謝金	27			
			消耗品費	28			
			食糧費	0			
			印刷製本費	143			
			会場借上料	2	計	200	

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	25年度活動実績 自治会役員等研修、職員研修、推進委員研修、情報誌発行 企業ガイダンス(託児)、イベント開催時の啓発活動 26年度活動予定 研修会・講座(自治会、企業、職員) 情報誌発行 イベント開催時の啓発活動
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	市民
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	男女共同参画について理解を深めてもらい、必要性を理解してもらう。
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	性別に関わり無く個性と能力を発揮できる男女共同参画社会の実現を目指す。

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	ア 研修会・講座等開催回数	回
	イ 情報誌発行回数	回
	ウ 啓発活動実施回数	回
⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	ア 人口	人
	イ	
	ウ	
⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	ア 男女共同参画社会の実現に向けた活動の住民満足度	%
	イ	
	ウ	
⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	ア ハーモニープラン数値目標達成件数	件
	イ	

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	最終年度
				(決算・実績)	(決算・実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)	
年間トータルコスト	事業費	国庫支出金	千円							
		県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		一般財源	千円	394	467	200	269	269	269	
	人件費	事業費計(A)	千円	394	467	200	269	269	269	0
		正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2	
		延べ業務時間	時間	240	240	240	240	240	240	
		人件費計(B)	千円	1,092	1,092	1,092	1,092	1,092	1,092	0
		(A)+(B)	千円	1,486	1,559	1,292	1,361	1,361	1,361	0
活動指標	ア	回	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0		
	イ	回	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0		
	ウ	回	4.0	4.0	10.0	10.0	10.0	10.0		
対象指標	ア	人	72,854.0	72,566.0	73,070.0	73,070.0	73,070.0	73,070.0		
	イ									
	ウ									
成果指標	ア	%	21.3	20.2	20.5	30.0	30.0	30.0		
	イ									
	ウ									
上位成果指標	ア	件	32.0	53.0	55.0	55.0	0.0	0.0		
	イ									

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	平成17年に基本計画、18年に推進条例が制定されたことに伴い、平成18年から男女共同参画社会の実現を推進するために開始された。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	男女共同参画は人の意識の問題であり非常に難しいが、開始時期と比較すると多少は浸透してきている。今後もう少しづつ理解が得られると考えられる。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	①市民に男女共同参画の内容が正しく理解されていない。 ②自治会・企業への浸透には、まだまだ時間がかかる。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	①これまでの、啓発中心な推進から、実践的な推進へと改善した。 ②情報誌の内容を見直した
③ H 25年度に実施した改革改善の内容	・地域イベントに参加して身近な啓発活動を行った。 ・情報誌の構成見直し

事務事業名	男女共同参画啓発事業	所属部	市民部	所属課	みんなでまちづくり推進課
-------	------------	-----	-----	-----	--------------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 この事業を行うことにより広く男女共同参画を周知でき、市民の理解を深めることができるため男女共同参画社会の推進に繋がる。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 男女共同参画社会の実現は国においての最優先課題と位置づけられ、県や国においてもそのための施策が求められている。 このため市の関与は妥当である。既に市民協働事業である。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input checked="" type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 市民に男女共同参画を理解してもらう事業であるため、今後、維持・継続していく必要がある。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 男女共同参画の推進は、あらゆる分野、幅広い年齢層へ浸透させる必要がある。今後は、市民に関心のある内容を取り入れるなど事業を見直すことで成果を向上させることも可能である。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入！) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 男女共同参画の推進は、少子高齢化など急速に変化する社会に対応するため必要不可欠であり影響はある。 <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 男女共同参画の推進は人の意識の問題であり、すぐに成果が表れるものではない。そのために継続して行う必要がある。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 すでに市民(ハーモニープラン推進会議)と協働で実施しているため削減余地はない。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 市と市民が一体となって行っている事業であり、役割分担の中で市民と協働で行っているためこれ以上削減余地がない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 男女共同参画社会の推進は市民全体を対象とするものであり公平公正である。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	男女共同参画の推進は、あらゆる分野、幅広い年齢層へ浸透させる必要がある。今後、地域・企業等へ推進する中で、直接、市民と情報交換しながら理解と関心を深める。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について																						
① より広い年齢層へ浸透させるため世代にニーズに応じた事業を考える。(防災・福祉・子育て等) ② 自治会・企業へ出向き話し合いの場を設け理解を深めてもらう。 ③ 他事業と連携した事業の開催																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果 平成25年度																					
① 年度ごとに主たるテーマを決めて事業を進める。 ② 企業における講座を開催するため商工会の協力を得る。	成果優先度評価結果 コスト削減優先度評価結果																					